

メディアリリース



IOSCO/MR/24/2022

2022 年 10 月 3 日

IOSCO「世界投資者週間」が投資者教育の促進と投資者保護の強化を目的として開幕

証券監督者国際機構(IOSCO)は、2022 年 10 月3日から9日にかけて、第6回世界投資者週間(WIW)を挙げる。サステナブルファイナンスや暗号資産といった市場を再構築しているイノベーションと、投資者のレジリエンスの強化を必要とする現在の困難な市場環境に焦点を当てる。

本キャンペーンは、アンゴラやブラジルでのキックオフイベントに先んじて、ニュージーランドとポーランドでの金融・投資者教育のための打鐘セレモニーや日本とフランスでのビデオメッセージなど、様々なグローバルおよび地域でのローンチイベントを今週より開始している。

昨年までと同様に、証券当局、金融当局、市場参加者及び金融業界団体、国際機関、大学その他の市民社会を代表する組織を含む様々な参加者が、投資者教育及び投資者保護を促進するための広範な活動を行う予定である。G20 議長国のインドネシアも WIW を支持している。

このキャンペーンの一環として、IOSCO WIW は、投資者のレジリエンス、サステナブルファイナンス、暗号資産、詐欺・悪徳商法防止に関するキーメッセージを平易な英語で

届けており、個人投資家や一般大衆のこれらのトピックに関する基本的ポイントの理解を促進している。

IOSCO 事務局長のマーティン・モロニー氏は、「IOSCO は、投資者保護と市場の信頼を高める手段として、投資者教育を促進する世界的なキャンペーンを支援できることを喜ばしく思う。投資家は、自らの財務健全性を高め、将来に向けた計画を立て、財務的に強靱であり続けながらも、市場を理解し信頼してビジネスを行うとともに、市場が提供する金融商品・サービスを活用する必要がある。規制と監督は必要不可欠だが、金融リテラシーがこの作業を完成させる。」と述べた。

WIW ワーキンググループのコーディネーターであるジョゼ・バスコ氏(ブラジル CVM)は、「個人投資家が利用できる金融商品やサービスが進化し、複雑化し続けている市場においては、投資者教育が不可欠である。投資家の行動は、この絶えず変化し続ける市場に適応する必要がある、そのためには知識と理解が不可欠であるが、これらは、規制当局、市場参加者、その他の利害関係者が促進することができるものである。IOSCO WIW は、こうした共同の取組みを推進している。」と述べた。

WIW のウェブサイト(www.worldinvestorweek.org)では、キャンペーン期間中に行われるイベントの詳細を提供している。新型コロナウイルス感染症が依然として各法域に困難な状況をもたらす中で、各参加者は、2022 年 10 月もしくは 11 月のいずれかの選択した週で、WIW 関連の活動を行う予定である。各法域の情報は、WIW のウェブサイトで見入手可能である。

NOTES TO THE EDITORS については省略。